

# 未来への輪

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果 特別号  
千歳市立向陽台中学校 学校便り 特別号

【学校教育目標】  
『真理を求め 心豊かに たくましく』

知性を磨き創る人 広く絆を結ぶ人  
理想を求め励む人 気高く強く生きる人  
すすんで道を拓く人

令和4年11月29日発行

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、すでにこの調査結果を踏まえ、生徒の学力向上に向けた改善プランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んでおります。今後も学校と家庭が、お互いの役割を認識しながら一人一人を大切に育てていきたいと考えております。家庭での学習などの取組についてもご理解・ご協力をお願いいたします。

## 1. 教科に関する調査結果

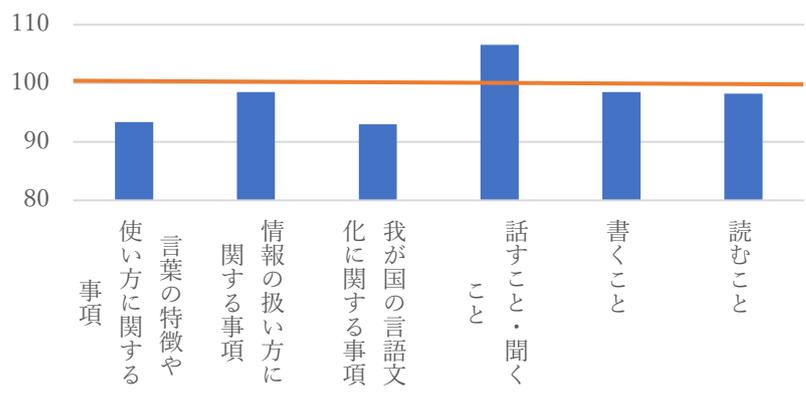
### 【国語】

全国の平均正答率と比較してほぼ同様(下位)という結果でした。

#### ① 領域別の結果

##### 言葉の特徴や使い方に関する事項

この内容の問題は6問でしたが、「自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す」ことや「除(のぞく)」「喜(よろこ)んで」という漢字を書くことに課題が見られました。無回答率は全国よりも低く、ねばり強く問題に取り組もうとする生徒が増えている状況が見られました。



##### 情報の扱い方に関する事項

この内容の問題は1問でした。「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」ことの正答率は、全国を若干下回っておりますが、無回答率は0%でした。自分の考えを伝えようとする意識が非常に高いことがわかりました。

##### 我が国の言語文化に関する事項

正答 1

この内容の問題は3問でしたが、「行書の特徴を理解し、書き方についての説明で適切なものを選択する」ことに課題が見られました。また無回答率も高く学び直しが必要だということがわかりました。

正答率 25.0% 無回答率 4.2%

##### 話すこと・聞くこと

この内容の問題は3問でしたが、スピーチをするときに「聞き手の興味・関心を考慮して、表現を工夫する」意識は高いのですが、「自分の考えをどのような意図を持って、工夫して話す」かを考え、記述することに課題が見られます。無回答率は、全国とほぼ同様でした。

4 竹内さんは、行書で「夢と希望」という文字を書いています。次の「最初に書いた文字」「最初に書いた文字」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【最初に書いた文字】

【友達や先生からの助言】

先生: 漢字については青山さんの言うとおりですが、ひらがなの「と」についても課題がありそうです。

青山さん: 漢字のバランスが悪いような気がしますが、先生、どうでしょうか。

竹内さん: 行書の点画の書き方に気を付けて書いてみましたが、どうでしょうか。

先生: 行書の特徴を踏まえて書くことができます。ただ、漢字のバランスが悪いような気がしますが、先生、どうでしょうか。

先生: 漢字については青山さんの言うとおりですが、ひらがなの「と」についても課題がありそうです。

青山さん: 漢字のバランスが悪いような気がしますが、先生、どうでしょうか。

竹内さん: 行書の点画の書き方に気を付けて書いてみましたが、どうでしょうか。

## 書くこと

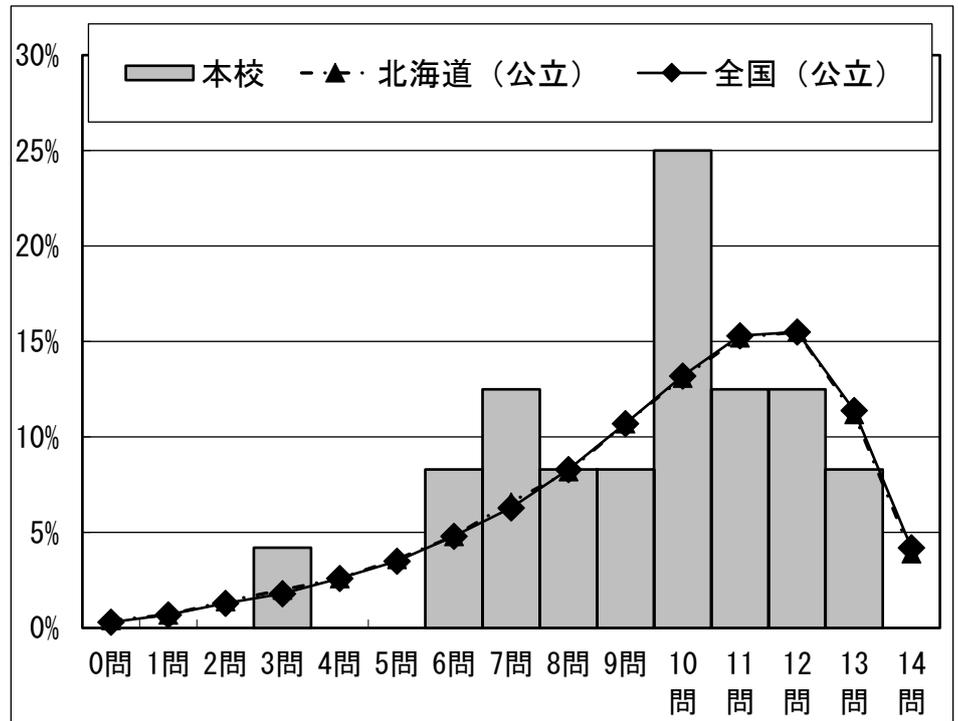
この内容の問題では、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」ことについて、全国に比べ若干下回っています。無回答率が0%であったことから、ねばり強く問題に取り組んだことがわかりました。

## 読むこと

この内容の問題は2問でした。「物語文の場面と場面、場面と描写などを結び付けて、登場人物の気持ちや思いを読み取る」ことに課題が見られました。無回答率は全国を上回りました。

### ② 正答数の分布

正答数が7問以下の生徒の割合と10問以下の生徒の割合は全国より高くなっています。一方、正答数が11問以上の生徒の割合は、全国を下回っており、いわゆる上位層が少なく中間・下位層が多い状況が見られます。



### 【学校の取り組みと改善策】

本校の課題は、「自分の考えを分かりやすく伝えるために、読み手の立場に立って考えて書いたり、話したりすることや改善点を見つけて表現を工夫する力を高める」ことです。そのため、本校では、①国語科や他教科の学習場面で、自分の考えをしっかりと持つ『思考の時間の確保』や『伝わる文章になるように工夫して書く力を高める』学習活動を増やしています。②自己の考えや意見などを他者に説明し、互いの考えやその根拠を知るなど、『対話を通して学び合う』学習活動を通して課題解決力を高めています。また、授業アイデア例などの参考資料を積極的に活用しています。

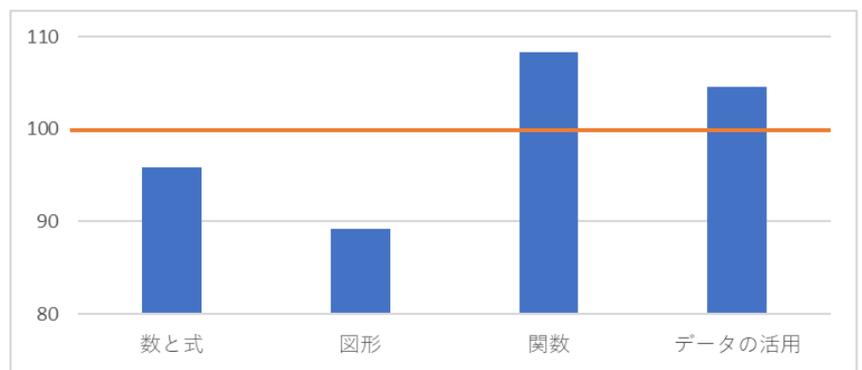
## 【数学】

### ① 領域別の結果

#### 数と式

この領域の問題は5問でしたが、「42を素因数分解する」短答式の問題の正答率は、全国を下回っており、課題が見られました。しかし、「～だから・・・なるという結論を考え、説明する」記述式の問題は、正答率が高く無回答率は0%でした。ねばり強く考え、伝わるように説明しようと取り組んだことがわかりました。

全国の平均正答率と比較してほぼ同様（下位）という結果でした。



## 図形

この領域の問題は3問でしたが、「三角形の合同条件が成り立つ根拠を明確にし、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する」記述式の問題の正答率は、全国を下回っており、課題が見られました。しかし、無回答率は全国を下回っていることから、ねばり強く問題に取り組んだことがわかりました。

## 関数

この領域の問題は3問でしたが、「ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べられたものを考える」選択式の問題の正答率は、全国を上回っています。また、どの問題の無回答率も全国を下回っていました。

## 資料の活用

この領域の問題は3問でしたが、「図からデータの分布の特徴を読み取る」選択式の問題の正答率は、全国を上回っています。しかし、「データから考え、判断した理由を数学的な表現を用いて説明する」記述式の問題の正答率は、全国を下回っており、課題が見られました。どの問題も無回答率は全国を下回っていました。

### ②正答数の分布

14問中4問以下、8問以上の正答数の生徒の割合が全国より高くなっています。一方、5～7問以下の正答数の割合は低くなっていることから、いわゆる中間層が少なく、上位層と下位層が多いという状況が見られます。

(2) 琴音さんは、次の図2や図3のように、21ページの図1の長方形ABCDの辺の長さをいろいろに変えた図をかきました。このときも、 $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ が成り立つので、 $EB = BF$ がいえます。琴音さんは、 $EB = BF$ 以外にも、辺や角についていえることがないか調べました。

図2

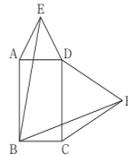
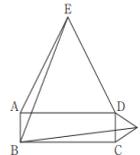


図3

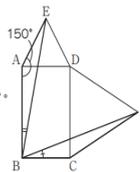


調べたことから、琴音さんは、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも $60^\circ$ になると予想し、次のように考えました。

琴音さんの考え

◇  $\angle EBF$ について、  
 $\angle ABC = 90^\circ$ より、  
 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ がいえれば、  
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ$ となり、  
 $\angle EBF$ が $60^\circ$ になることがいえる。

◇  $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることは、 $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ からわかる等しい角と、  
 $\angle EAB = 150^\circ$ を用いて示すことができる。



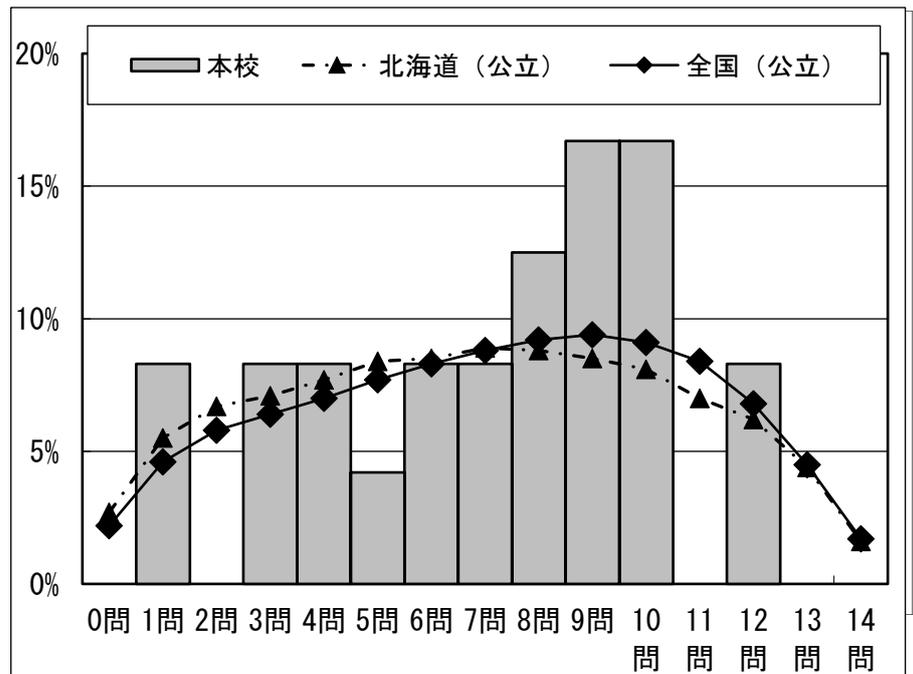
$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ を示すことで、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも $60^\circ$ になることが説明できます。琴音さんの考えの◇にある $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ と $\angle EAB = 150^\circ$ はすでにわかっていることとして、 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることを下の説明の◇に示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも $60^\circ$ になることの説明を完成しなさい。

説明

(正答例)

$\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ より、合同な図形の対応する角は等しいから、 $\angle AEB = \angle CFB$  …①  $\triangle ABE$ において、三角形の内角の和は $180^\circ$ で、 $\angle BAE = 150^\circ$ であるから、 $150^\circ + \angle ABE + \angle AEB = 180^\circ$   
 $\angle ABE + \angle AEB = 30^\circ$  …②  
 ①、②より  $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$  したがって、 $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和は $30^\circ$ になる。

正答率 0% 無回答率 4.2%



## 【学校の取り組みと改善策】

本校の課題は、図形の領域や資料の活用などの問題で、『根拠を明確にし、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を数学的な表現で説明する』ことができる力を高めることです。

そのため学校では、①日常生活の具体的な場面で、数学を活用して筋道立てて考え、論理的に説明したり記述したりする学習を積極的に行っています。②計算力を高めることや図形の性質をしっかりと理解させるなど、基礎・基本の確実な定着を図るために、操作や演習を自分のペースで学習できるように工夫しています。また、様々な研究所などから出ている授業アイディア例などを参考にし、「できた、わかった」と生徒が実感できる授業を実践しています。

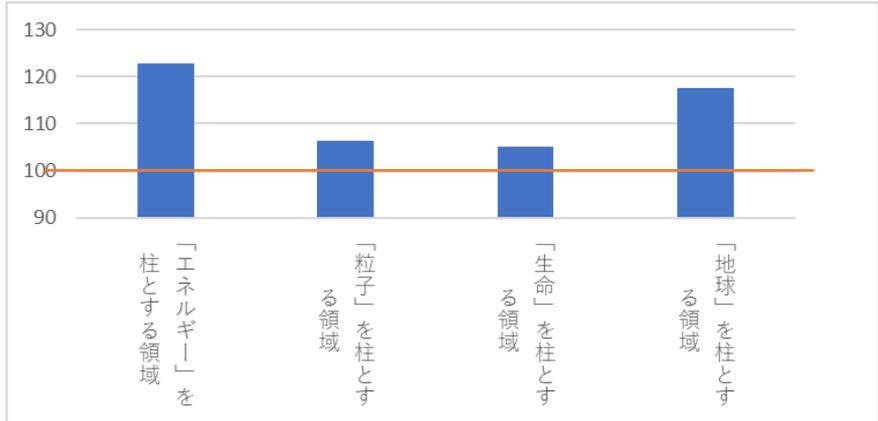
# 【理科】

## ① 領域別の結果

### エネルギー

この領域の問題は6問でしたが、どの問題も正答率は全国を上回っています。「日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象や実験の結果をより正確にするための測定方法や範囲などの方法を考え説明する」問題の正答率は、全国を大きく上回っており、確実な知識や思考・判断ができていることがわかりました。また、無回答率も、全国を下回りました。

全国の平均正答率と比較して高いという結果でした。



### 粒子

この領域の問題は5問でしたが、「水素を燃料として使うしくみの例の水の質量の変化について、粒子の保存性の視点から化学変化に関わる水の質量が変化しないことを考える」選択式の問題の正答率は、全国を下回りました。無回答は0%でした。

正答  
(2) イ  
(3) 太陽の光

正答率(2)45.8 (3)25.0  
無回答率(2)(3)とも0%

水素を燃料として使うしくみの例で電気分解と燃焼を繰り返すとき、図の水の質量は、どのようになると考えられますか。

水の質量は  と考えられます。

水素を燃料として使うしくみの例では、水素がずっと使えます。

この水素を燃料として使うしくみの例では、水を電気分解して発生させた水素を使い続けるために、おおもとして  が必要です。

- (2)  に当てはまる適切なものを、下のアからウまでの中から1つ選びなさい。  
ア 小さくなる    イ 変化しない    ウ 大きくなる
- (3)  に当てはまる最も適切な言葉を水素を燃料として使うしくみの例の図の中から1つ選び、書きなさい。

### 生命

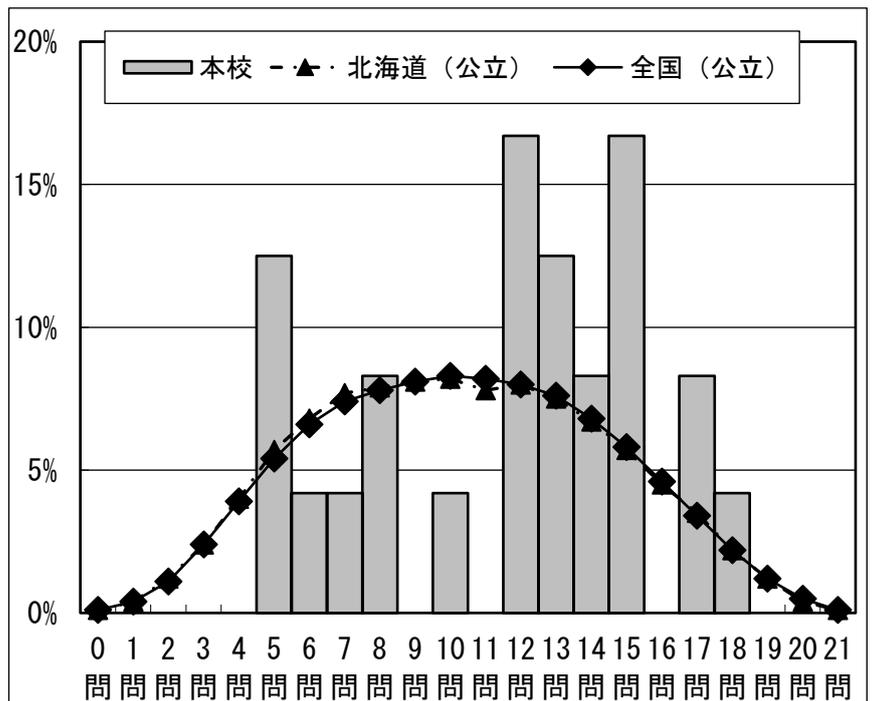
この領域の問題は5問でしたが、「アリが視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する」問題の正答率は、全国を下回りました。その他の「予想や仮説と異なる結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する」問題の正答率は、全国を上回りました。無回答率は、全国を下回りました。

### 地球

この領域の問題は6問でしたが、5問の選択式問題で正答率は全国を上回っています。「観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を考え、観測地の標高を空間的に捉え、気圧の概念を空気の柱で説明する」問題の正答率は、全国を下回りました。どの問題の無回答率も全国を下回っていました。

### ②正答数の分布

21問中5問以下、12問以上の正答数の生徒の割合が全国より高くなっています。一方、6~11問以下の正答数の割合は低くなっていることから、いわゆる中間層が少なく、上位層と下位層が多いという状況が見られます。



## 【学校の取り組みと改善策】

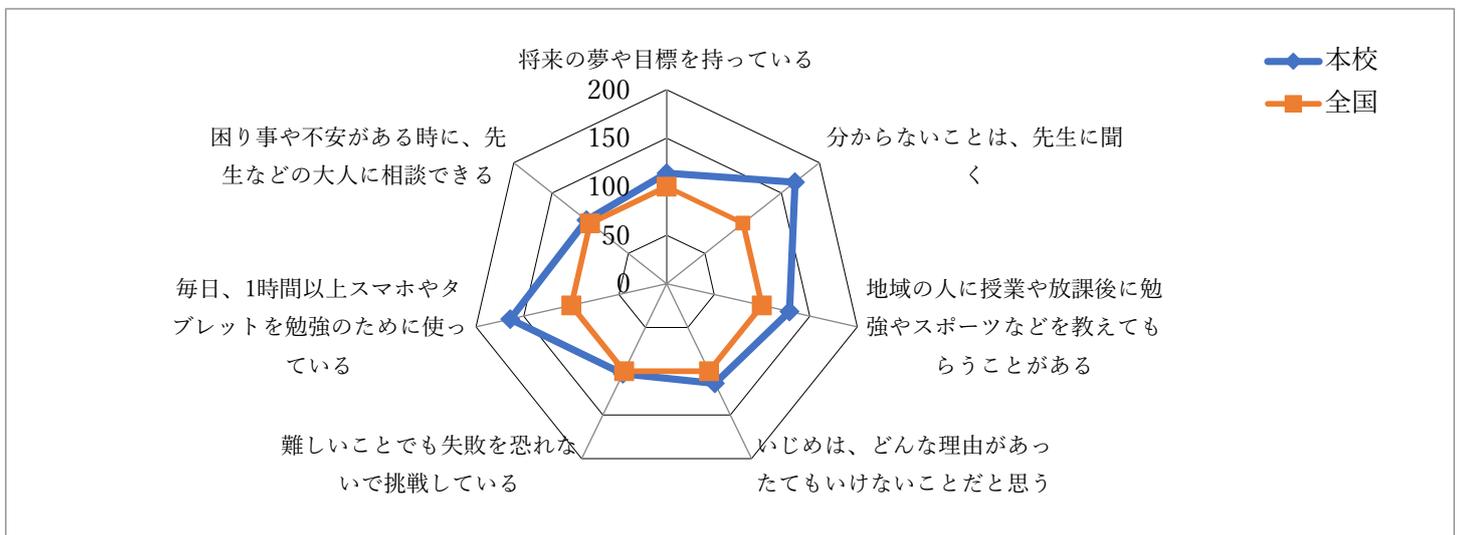
本校の課題は、実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述することや既習の知識を活用して分かりやすく説明する力を高めることです。

そのため本校では、①日常生活の具体的な場面と結びつけた自然の事物・現象を科学的に探求する課題を設定し、実験や観察、考察やまとめなどでタブレットを活用するなど学習活動の工夫を行っています。②学習活動にしっかりと自分の考えや考察を記述する時間、班やグループで話し合い課題を解決する時間、全体でより深く学ぶ時間などを確保することにより、生徒主体の学習を実践しています。各種機関や研修会などで出ている授業アイデア例などを参考にし、「できた、わかった」と生徒が実感できる授業を実践しています。

## 2. 生徒質問紙調査結果

69項目の質問がありました。

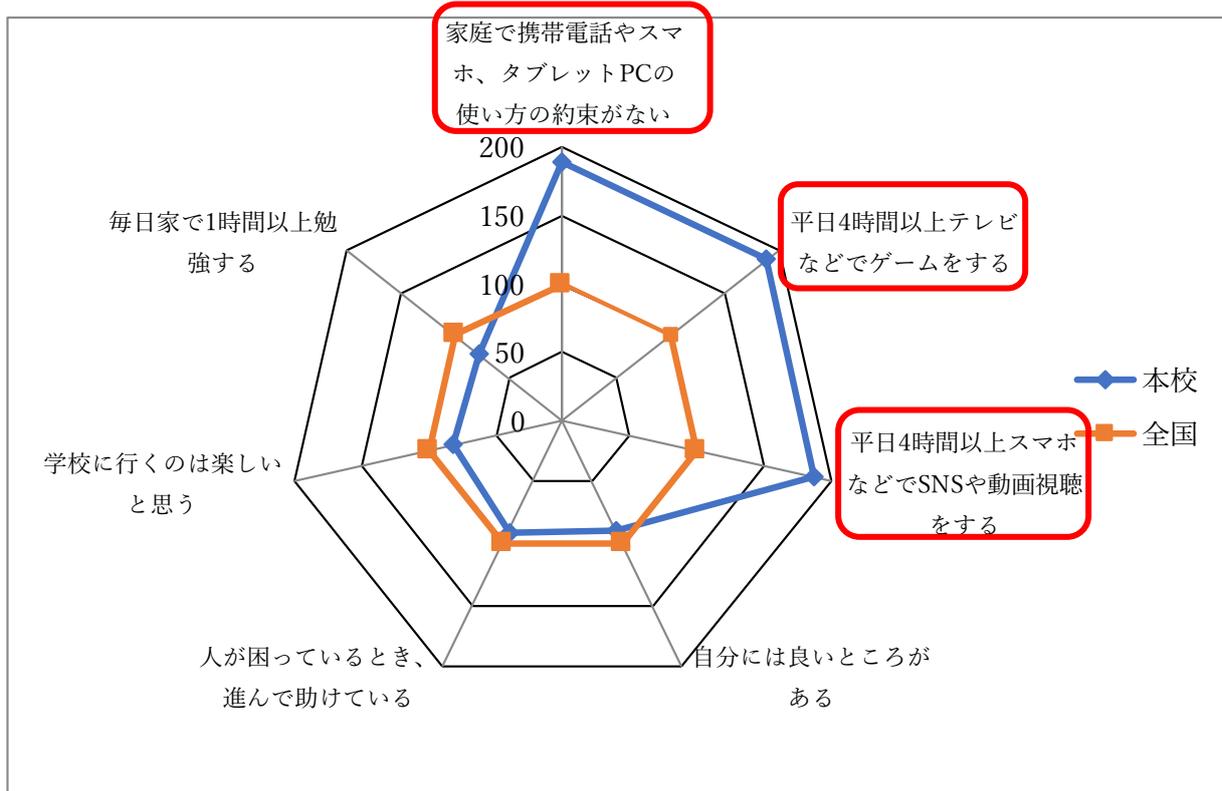
本校の特徴的な項目をお知らせすると同時に、子ども達のより良い成長に向けて、家庭との連携協力を確実に図ります。



### 良い傾向にあること

- 「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒は、約76%で全国を10%ほど上回っている。
- 「家で学校からの課題で分からないことがあったとき、学校の先生に聞く」と答えた生徒は、約53%で全国を20%ほど上回っている。
- 「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらうことがある」と答えた生徒は、約38%で全国に比べ18%ほど上回っている。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた生徒は、約95%で全国に比べて10%ほど上回っている。
- 「昨年、授業でPCやタブレットなどのICT機器を毎日使用した」と答えた生徒は、51%で全国を30%ほど上回っている。また、「調べる場面や意見交換する場面で毎日使用した」も全国を大きく上回っている。
- 「普段（月曜から金曜日）、1日当たり1時間以上、スマホやタブレットPCなどを勉強のために使っている」と答えた生徒は、約30%で全国を15%ほど上回っている。しかし、全く使っていないという生徒は、全国を10%ほど上回っている。

## 改善が必要なこと



- 「携帯電話・スマホやタブレットの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という項目で、「持っているが、約束はない」と答えた生徒は、**約35%で全国平均の2倍になっている。**
- 「普段（月曜から金曜日）、1日当たりテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマホを使ったゲームも含む）を**4時間以上する**」と答えた生徒は、**約31%で全国の約2倍となっている。**
- 「普段（月曜から金曜日）、1日当たり携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などを（学習する時間やゲームをする時間を除く）**4時間以上する**」と答えた生徒は、約**30%で全国の約2倍となっている。**2時間以内に行っている生徒は、全国に比べ約20%少ない
- 「自分には良いところがある」と答えた生徒は、**約70%で全国を約10%下回っている。**
- 「学校の授業以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」という項目で、「2時間以上3時間未満と1時間以上2時間未満」と答えた生徒が、それぞれ約10%少なく、「**全くしない**」という**生徒は約13%で全国の2倍以上となっている。**

### 3. 保護者・生徒アンケートから（7～8月実施）

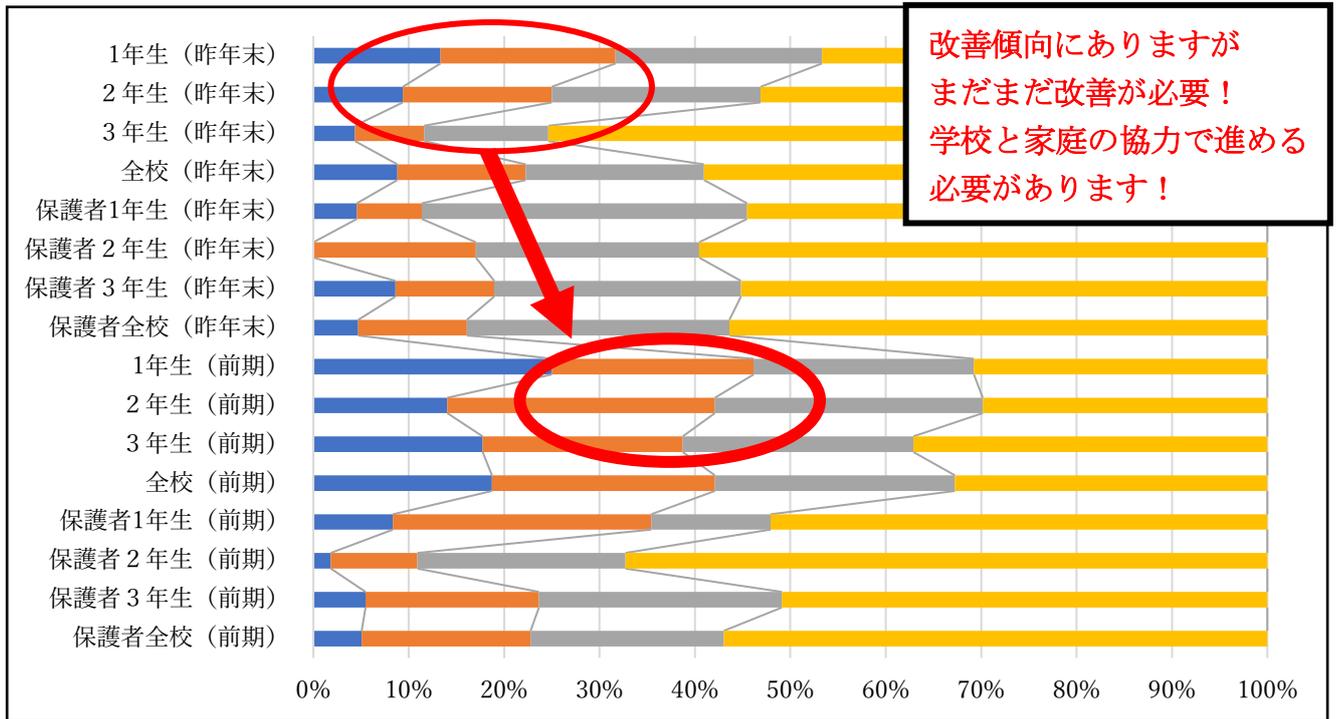
本校の「お子さんは、余暇の時間、スマートフォンやパソコン・テレビの時間は1日2時間未満にしている。〔保護者〕・家庭での余暇の時間、スマートフォンやパソコン・テレビの時間は1日2時間未満にしている。〔生徒〕」割合は、次ページの上のグラフの通りになっています。改善傾向にあります。50%以上の生徒が「2時間以上使用している」のが実態です。

また、「お子さんは、自主的な家庭学習の習慣が身についている。〔保護者〕・家庭で、予習・復習や課題など学習に毎日取り組んでいる。〔生徒〕」割合は、次ページの下グラフになっています。1年生の7割以上が毎日取り組んでいるという結果の頑張りが見られています。家庭学習に取り組むことは素晴らしいことです。効果が出るように時間や内容、方法を工夫し自分に合った学習のスタイルを確立することが大切です。特に、2年生には積極的な声かけや励まし、目標を明確にするなどの関わりが必要です。3年生は、受験に向けてしっかりと目標を持ち、計画を立てて学習していくことが大切です。

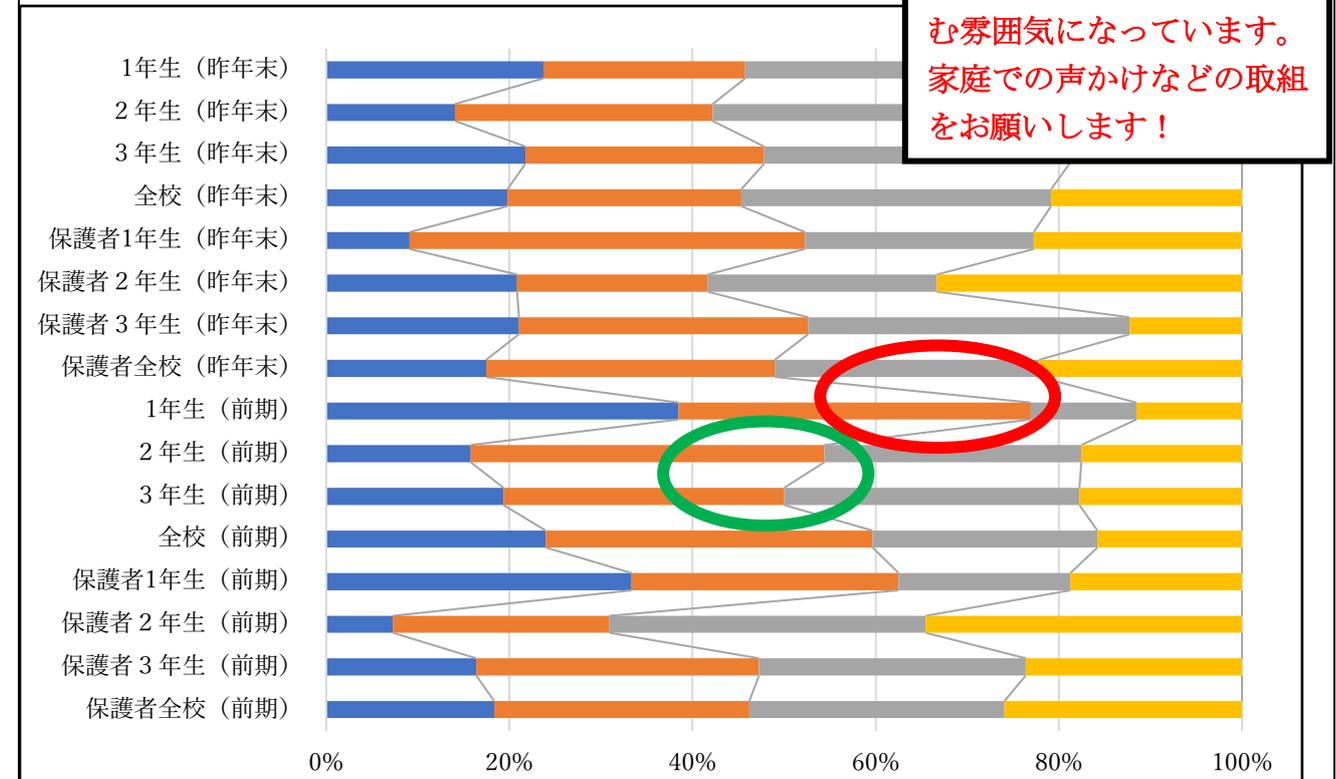
### 全校的な状況 (8月のアンケート)

■ 達成できている
 ■ 概ね達成
 ■ 少し改善を要する
 ■ 改善必要

- ⑰・お子さんは、余暇の時間、スマートフォンやパソコン・テレビの時間は1日2時間未満にしている。〔保護者〕  
 ・家庭での余暇の時間、スマートフォンやパソコン・テレビの時間は1日2時間未満にしている。〔生徒〕



- ⑮・お子さんは、自主的な家庭学習の習慣が身についている。〔保護者〕  
 ・家庭で、予習・復習や課題など学習に毎日取り組んでいる。〔生徒〕



## 【学校では現在このような取組を行っています】

### ☆授業改革に取り組んでいます。

生徒が見通しを持って、自分のペースで学べるように「単元や1時間の学習の流れを明確にする」ことや仲間と協力して「対話を通して深く学ぶ」ことなどを意図的に進めています。

タブレットを有効活用し、自分の考えを仲間にわかりやすく伝えあったり、話し合ったことを発信したり、楽しく学ぶことができるように工夫しています。



### ☆漢字や基礎的な計算力、語彙力などの「基礎・基本」の確実な定着を図っています。

授業の始めや終わりに漢字の書き取りや計算問題、英単語や重要語句などの確認の時間を確保し、各教科の「基礎・基本」の定着のために、繰り返し学習するように工夫しています。

**授業での学習 ⇒ 家庭での自主的な学習 ⇒ 次の授業での復習 ⇒ 家庭でのテスト前の自主的な学習**  
というような学習サイクルを指導し、確実な定着を目指しています。

### ☆自分の考えをしっかりと持たせ、仲間と対話を通して深く学ばせています。

教師が一方向的に全てを教えるのではなく、学習課題を解決するために「自分の考えを持ったり、書いたりする」時間を確保しています。さらに、個々の考えを隣の人や近くの人と交流し合ったり、グループで話し合ったり、タブレットの様々なアプリを使って「対話的に深く学ぶ」ことができるように、学び方を工夫しています。



### ☆習熟度別少人数指導や学習支援員などの活用を充実させています。

数学の授業は、各学年を習熟度別に「基礎」「定着」「標準」「発展」の4クラスに分けて学習しています。単元テストなどで人数は変更になりますが、「基礎」「定着」コースは、人数を少なくして一人一人に関わる時間を増やす工夫をしています。

### ☆タブレットで自宅でもデジタル教科書やドリル教材、eラーニングなどで学べる環境を作っています。

英語はデジタル教科書で、発音練習ができるようになっています。小学校の内容も動画で学びドリルで力を付けられる「まなびほけっと」や千歳科学技術大学の「eラーニング」などの自分で選択して学べます。学校側が環境をつくり、活用するように指導していますので、家庭で学ぶようご協力をお願いします。



## 【家庭ではこのような取組をお願いします】

【千歳市家庭生活宣言の千歳統一ルールを子どもと一緒に取り組みます】

### ちとせ統一ルール

- ① スマートフォンやゲーム、テレビの時間は **2時間以内**とします。
- ② **午後9時以降はスマートフォンの使用やゲームを行いません。**
- ③ **悪口や個人が特定される言葉や画像を書き込みません。**
- ④ **学習や食事中には、電話やメール、SNSを使用しません。**
- ⑤ **困ったときは、保護者や先生に相談します。**



家庭での学習時間が少なくゲームや動画視聴時間が全国平均の2倍！携帯電話やタブレット使用の約束がないも2倍！という結果が出ています。**家庭での約束をしっかりと決めて、主体的に学習する習慣を付けることが大切です！**

**まず、使い方の約束をお子さんと話し合みましょう！**

**そして、使い方を確認して家庭での学習に取り組ませましょう。**

学校でもスマホ・テレビなどは2時間以内、そして家庭学習への取組を指導します。